

令和5年度 前期生徒アンケート集計結果 (回答率81%)

令和5年度の前期(4月～8月)を振り返って、回答してもらいました。

4「よくできていた」、3「ややできていた」、2「あまりできなかった」、1「できなかった」とし、それぞれの設問に対する回答の人数と割合を記載しています。末尾にある得点は、各項目ごとの平均点を表しています。

| 番号 | 質問項目 | 4 | | 3 | | 2 | | 1 | | 得点 |
|----|---|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|
| 1 | 自分からさわやかな挨拶ができ、はきはきと話すことができていた。 | 62 | 41.9% | 68 | 45.9% | 14 | 9.5% | 4 | 2.7% | 3.3 |
| 2 | 向上心をもって、学習など(部活動を含む)に全力で取り組むことができていた。 | 69 | 47.3% | 53 | 36.3% | 18 | 12.3% | 6 | 4.1% | 3.3 |
| 3 | 思いやりと感謝の心をもって人と接し、協力することができていた。 | 79 | 53.4% | 55 | 37.2% | 11 | 7.4% | 3 | 2.0% | 3.4 |
| 4 | 授業では、課題の解決に向けて主体的に取り組めた。 | 59 | 40.4% | 66 | 45.2% | 17 | 11.8% | 4 | 2.7% | 3.2 |
| 5 | 授業中、話し合う活動を通して考えを広げたり深めたりできた。 | 57 | 39.0% | 65 | 44.5% | 21 | 14.4% | 3 | 2.1% | 3.2 |
| 6 | 授業で「わかった」「できるようになった」実感が持てた。 | 62 | 42.5% | 62 | 42.5% | 20 | 13.7% | 2 | 1.4% | 3.3 |
| 7 | 「HOP STEP JUMP」を活用して計画的に家庭学習を行った。 | 19 | 12.9% | 42 | 28.6% | 61 | 41.5% | 25 | 17.0% | 2.4 |
| 8 | 適切な置き物(その日の家庭学習に合わせて必要な学習用具を持ち帰る)ができた。 | 83 | 56.1% | 45 | 30.4% | 13 | 8.8% | 7 | 4.7% | 3.4 |
| 9 | 1日1時間以上、家庭学習に取り組んだ。 | 50 | 33.8% | 52 | 35.1% | 36 | 24.3% | 10 | 6.8% | 3.0 |
| 10 | 体育の授業以外週1回以上運動(1時間程度の徒歩での登下校も含)やスポーツを行った。 | 85 | 57.4% | 23 | 15.5% | 23 | 15.5% | 17 | 11.5% | 3.2 |
| 11 | 学校行事などを通して、満足感や達成感などを感じる事ができた。 | 91 | 61.5% | 36 | 24.3% | 16 | 10.8% | 5 | 3.4% | 3.4 |
| 12 | 自分は学校生活の中で周りから必要とされている実感を持っている。 | 24 | 16.4% | 63 | 43.2% | 45 | 30.8% | 14 | 9.6% | 2.7 |
| 13 | 自分がされたら嫌なことは相手にしないようにしている。 | 85 | 58.2% | 42 | 28.8% | 11 | 7.5% | 8 | 5.5% | 3.4 |
| 14 | 学校生活を通じて、成長し続けている自分を実感している。 | 45 | 30.6% | 62 | 42.2% | 30 | 20.4% | 10 | 6.8% | 3.0 |
| 15 | 将来、こんな生き方をしたいといった夢や目標を持っている。 | 70 | 47.3% | 46 | 31.1% | 25 | 16.9% | 7 | 4.7% | 3.2 |
| 16 | インターネットや携帯電話は適切に使っている。(使用時間、他人への中傷、書き込み等) | 101 | 69.2% | 33 | 22.6% | 11 | 7.5% | 1 | 0.7% | 3.6 |
| 17 | 家の人とよく話をする。 | 96 | 64.9% | 36 | 23.6% | 13 | 8.8% | 4 | 2.7% | 3.5 |
| 18 | 自分には良いところがある。 | 36 | 24.3% | 56 | 37.8% | 44 | 29.7% | 12 | 8.1% | 2.8 |

【課題として捉えているところ】

○学習状況について

家庭学習の時間、計画的に課題があると捉えています。

本校の一定程度以上(全国平均値より上)の学力を支えているものは、授業にあると捉えています。そのため、質の高い授業を行うためのさらなる授業改善、現在本校が使用している「HOP STEP JUMP」、「家庭学習大作戦」等の活用の在り方について検討するとともに、キャリア学習の充実、カリキュラムの見直しや教科指導、授業改善と連動させる形で主体的に家庭学習に向かう姿勢の醸成を図っていきたいと考えます。

○自己肯定感について

他者や社会(学校生活)とのかかわりの中での自分らしさを形成または確立していくことの重要性を踏まえ、親や友人の考えや価値観を尊重し、時には受け入れながら、自分なりの考えや価値観を選択していくプロセスを重要視するとともに、自己有用感の獲得につながる学習活動を積極的に取り入れていきたいと考えます。